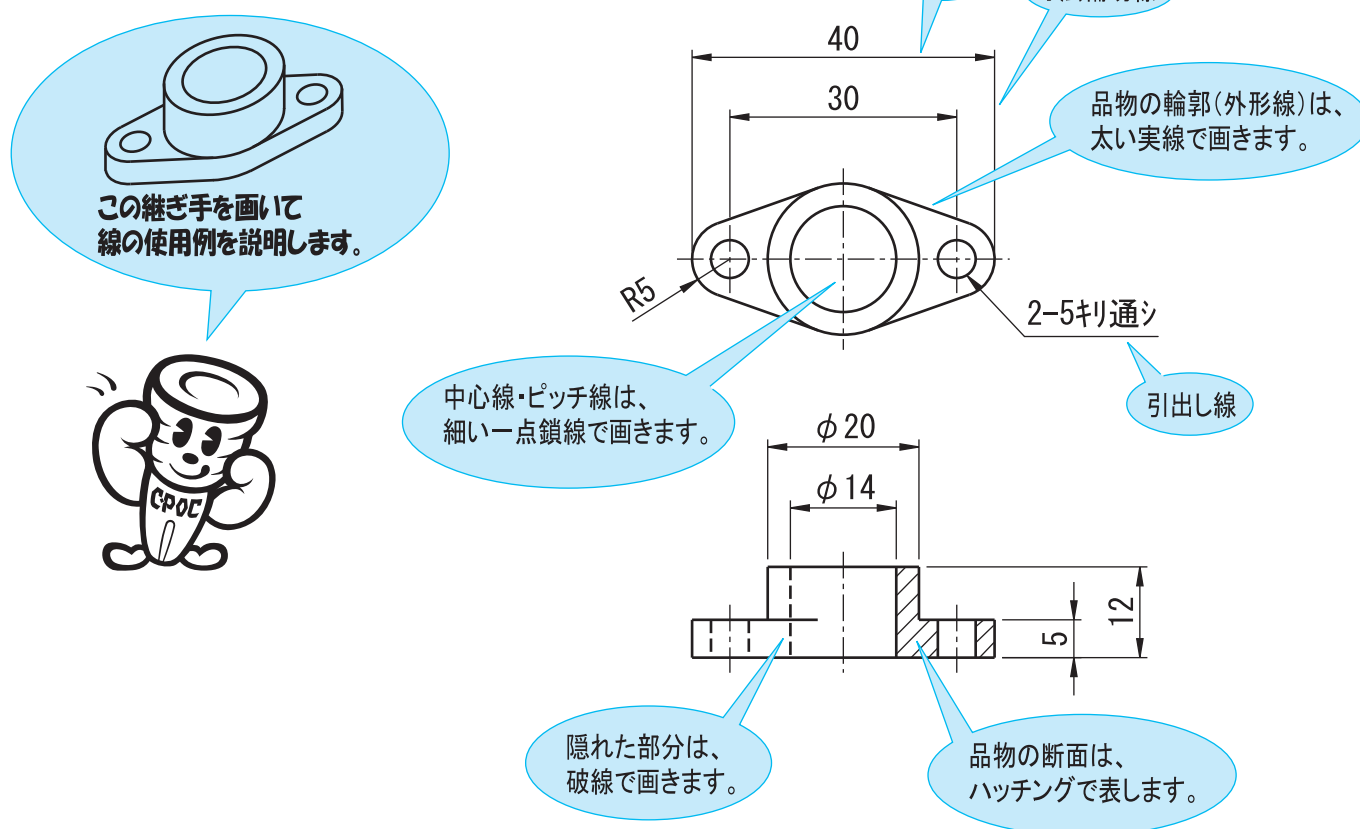


## 図面の書き方・図面の見方(実践編)

前は作図に関する基礎知識や用語等について説明しましたが、今回は実際に作図する上での注意点や見やすい図面を画くポイント等をまとめてみました。

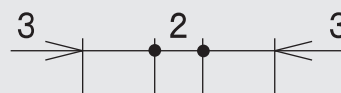
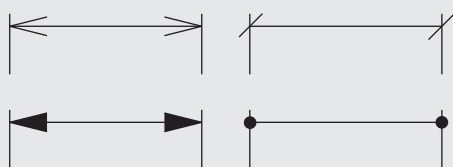
## 各線の使用例

◆ 前回説明した線の使用例を実際作図して説明します。



## 豆知識

寸法記入の際に使用する寸法線両端の記号(端末記号)には下記のものがあります。  
端末記号は右の図の様な場合を除き統一して下さい。

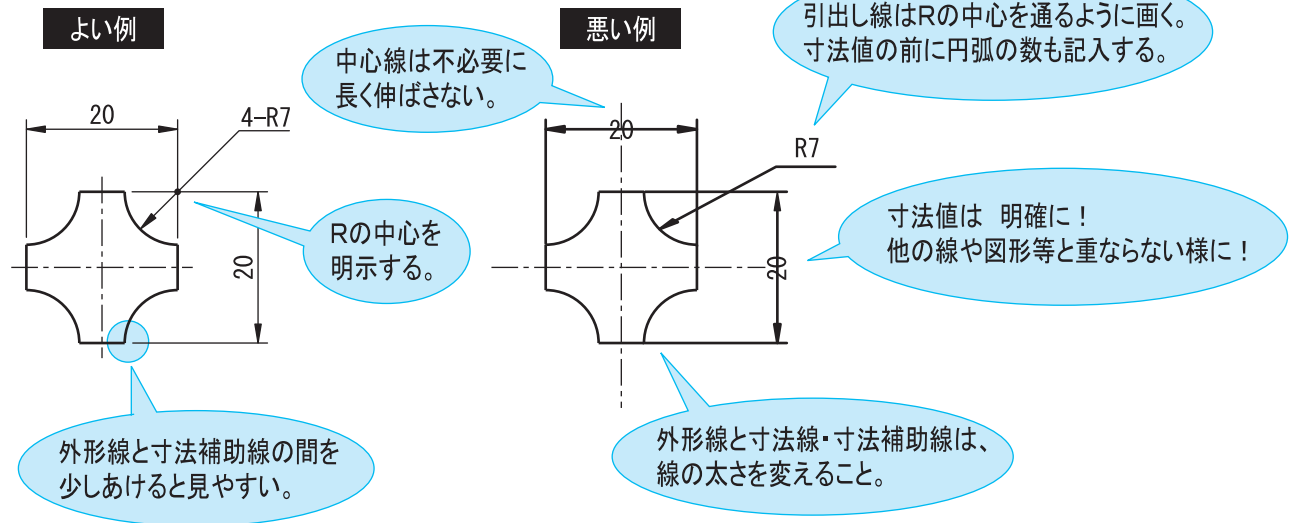


寸法補助線の間隔が狭くて矢印を記入する余地がない場合は、矢印の代わりに黒丸又は斜線を用いる。

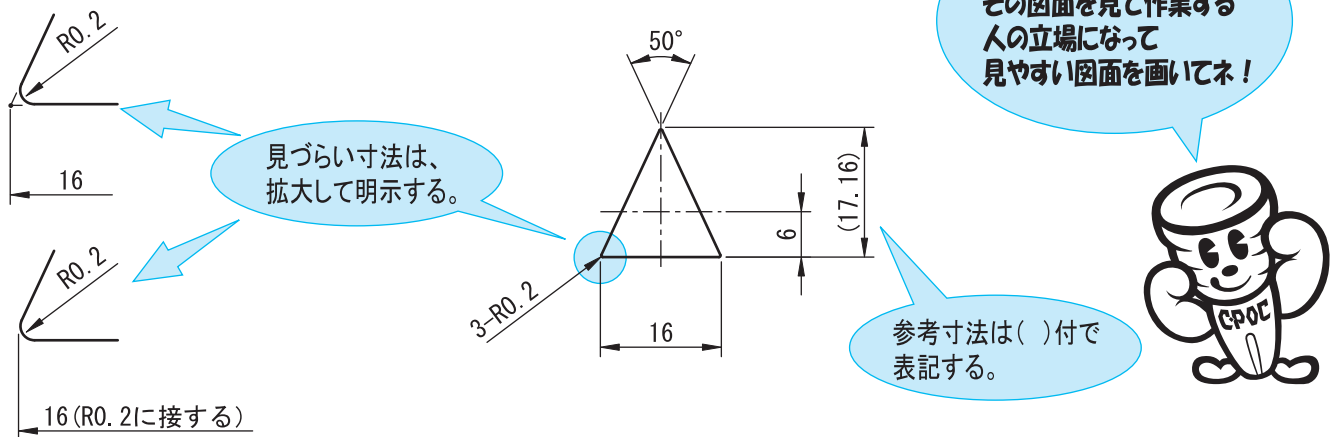
## 図面の書き方・図面の見方(実践編)

### 異形図作成

板金加工でよく使われる異形状図を書いて作図のポイントをまとめます。



### もっと見やすくするために



### まとめ — 見やすい図面を画くために

1. 品物の輪郭を表す外形線と寸法を記入する寸法線などをハッキリ区別してメリハリのある図面を画く。
2. 必要な内容を明示し、不必要な内容は画かない。
3. 誤解を与えるような表現は避けて、シンプルな図面にする。
4. 作図を終えたら、実際その図面を見て作業する人の立場になって見直す。

ご相談・お問合せは・・・

株式会社 **コニック** 金型センターまで

TEL 0120-0529-39 FAX 0120-0529-55

E-mail: order@conic.co.jp

金型技術情報は  
弊社ホームページでもご覧頂けます。

<https://www.conic.co.jp/>